

瓊水

けい すい

瓊水とは、玉のように美しく清らかな水のことで、田平を潤す、玉のように清らかな心をもつ子を育てていきます。

校長 田崎俊一郎



ICTの積極的な活用

我が家の倉庫に毎年燕が巣を作ります。今年も昨年の巣を再利用して巣をつくり、雛を孵していました。毎年燕が巣をつくるため、同じ燕が巣をつくっているのだろうかと調べてみると、燕の平均寿命が1.5年程とされていること、同じペアで翌年も繁殖するのは15%ほどということからどうやら同じペアではなさそうです。過酷な自然を生き抜いて我が家にやってきてくれる燕たちを温かく見守っていきたいと思います。

さて、運動会も終わり、北小ではこれまで以上に学習に力を入れています。今年度、特に力を入れているのは“学びに向かう力”の育成です。具体的には、自分の責任で課題や時間を管理する力、正しく自分の力を理解する力ととらえています。この学びに向かう力は、小学校学習指導要領で育成が求められている3本柱のひとつであり、子どもたちの将来にとっては、身に付けておかなければならない大切な力です。この力を付けるために、北小で今力を入れていることのひとつにICTの活用があります。

以前から積極的にタブレットによる学習を進めている北小ですが、今年度はさらに活用を進めています。

タブレット活用の例（昨年度の活用例）



○低学年では、カメラ機能をつかってアサガオの成長記録を撮っていました。成長の様子が分かりやすいです。



○どの学年も授業内容をタブレットに写して学習を進めている様子がよく見られました。手元にあるため、見たいところをすぐに大きくできるなど、見やすくなりました。



○学年によっては、タブレット上で意見を出し合ったり、整理したりしていました。記録が残るのもタブレットのいいところです。

今年度は、ドリルパークやテストパークを積極的に活用していきます。特にテストパークは、採点と集約がすぐにできるために、個人の学習記録を指導に生かすことができます。その子がどんなことに躓いているのかを理解した上で、指導をすることで、定着を図ることにつながっていきます。今後も積極的に活用していきます。

子どもたちの安全確保

最近子どもたちの安全を脅かすニュースが多く聞かれます。東京都立川の小学校への侵入事件をきっかけとして、学校の安全管理体制の強化が求められています。

田平北小学校では、“開かれた学校”をめざし、門扉や玄関を施錠したり、防犯カメラを設置したりはしていません。来客用駐車場が職員室前ということもあり、車が入ってきた際にはすぐに職員が声をかけるようにしています。来校される方については、玄関窓口で受付をされ、名札を下げることになっています。名札のない方には、職員が声掛けをします。保護者の方は、窓口で受付をされてから校舎内に入られていますので、今後も引き続きご協力をお願いします。送迎のための校舎内への車両の進入は、登校時間である7時15分から8時まで、下校時は15時から16時15分までは禁止しております。また、車を敷地内に乗り入れられる場合は十分に徐行し、子どもたちの安全確保にご協力をお願いいたします。